

引用の一括処理および強化

Note

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

プロセスを実行して引用ジョブを充実させるには、**機関全体の範囲**で次のいずれかの**権限**が必要です。

- フルフィルメントサービスオペレータ/管理者
- フルフィルメント管理者
- 一般システム管理者

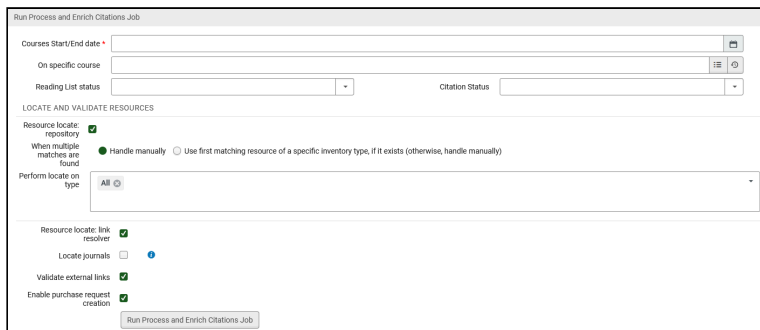
引用が図書リストに追加されると、通常、単一の一致が見つかった場合、冊子目録に自動的に一致します。この機能がオフになっている場合、または引用に対して一致がない場合、または複数の一致がない場合、Almaは引用を自動的に一致させません。詳細については、[目録アイテムへの引用の付属物の管理](#)を参照してください。

[引用の代替リソースの提案の検索](#)も参照してください。

[引用の処理と強化]ジョブ（[\[フルフィルメント\]](#) > [\[高度なツール - 図書リスト\]](#) > [\[引用の処理と強化\]](#)）を実行すると、目録を引用と一括で照合できます。このジョブは、URL引用の**検証**にも使用できます。

Note

このジョブはジャーナル記事を**検索**しません。ただし、**実地棚卸**があるジャーナルは**検索**します。



バルク引用目録強化ジョブページ

このページでは、特定の日付以降に開始し、特定の日付以前に終了するコースのすべての引用を照合できます。

必要に応じて基準を追加できます。

- 特定のコース
- 特定のステータスの図書リスト
- 特定のステータスの引用

- 引用で実行するプロセスのタイプを選択します。

- リソースを見つけるリポジトリ - リポジトリ内の引用を検索し、MMS IDを引用に割り当てることにより、「リソースを見つける」プロセスを実行します。手動で処理を選択すると、ジョブレポートに複数の一致が記録されますが、引用はリポジトリエンティティにリンクされません。最初に一致するリソースを使用するを選択すると、複数の一致がある場合、選択したタイプの最初に一致するリソース（優先順位順）が使用されます。これが失敗した場合、引用は不一致のままです。

一括引用目録強化ジョブページ - 一致優先度

複数のリソースタイプに同じ値を選択すると、エラーメッセージが表示されることに注意してください。上記のフィールドのデフォルトをセットするには、[その他の設定](#)のパラメータ `resource_locate_multiple_matches` および `resource_locate_multiple_matches_priority` を参照してください。

- タイプで検索を実行 - 検索アクションを実行する資料タイプを指定します。[その他の設定]テーブルで選択したタイプが自動的に入力されます（[その他の設定](#)を参照）。
- リソース検索：リンクリゾルバ - 電子リソースの場合、これは引用メタデータとAlmaリンクリゾルバを使用して引用を解決しようとします。検索は、引用メタデータを書誌レコードと照合しようとします。一致が見つかった場合は、図書館にその書誌レコードの利用可能な目録があるかどうかを確認します。ある場合、検索は成功します。
- ジャーナルを見つける - この機能を選択すると、Legantoは図書館リポジトリ内でジャーナルの引用を試みます。このオプションは、セットにジャーナルが含まれ、記事アイテムが含まれていない場合にのみ使用してください。一致が見つかった場合、アイテムは図書館にリンクされ、ステータスが「リソースが見つかりました」に更新されます。デフォルトでは、このチェックボックスは選択されていません。
- 外部リンクの検証 - URL引用の場合、URLへのアクセスを試み、有効なHTTP応答を確認します。次のエラーが確認されます：内部サーバーエラー（500）、ページが見つかりません（404）、またはタイムアウト（504）。
- 購入リクエストの作成を有効にする - 選択すると、certeriasルール（[設定メニュー](#) > [フルフィルメント](#) > [コース](#) > [引用処理ルール](#)）が満たされたときに、引用する購入リクエストが作成されます。このオプションはデフォルトで選択されています。

引用を目?と一括して照合する場合：

- [引用目録の強化]ジョブページで、引用を目録と照合するコースの日付を選択します。コースの開始/終了日で選択した日付より前または後に開始して終了するすべてのコースが処理されます。
- 必要に応じて、引用の追加の一致基準と処理タイプを選択します。
- プロセスの実行および引用ジョブの強化を選択し、確認ダイアログボックスで[確認]を選択します。ジョブが開始されます。

Note

- また、ジョブは、目録から手動で切断された引用を目録に（再）接続します。
- 詳細については、[目録アイテムへの引用の付属物の管理](#)を参照してください。

実行中のジョブに関する情報は、このページと、[ジョブの監視]ページの[実行中/履歴](#)タブに表示されます（[実行中のジョ](#)

[ブの表示](#)を参照)。更新を選択してページをアップデートします。

ジョブが完了したら、レポートの表示を選択してジョブのレポートを表示します。ジョブレポートには、処理されたレコードの数と、成功または失敗した一致の試行回数が含まれます。